

令和8年5月31日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和8年 5月 25日（月）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

### 【行政からの伝達事項】

- ・高齢者福祉課 4月より体制変更となる。
- ・熊の情報は安心・安全メールで確認し注意が必要

### 【入居者状況】

入居者9名（女性 8名）

平均年齢 92歳 平均介護度 2.9（1～5）

### 【活動状況】

- ・ドライブ・訪問カット・訪問歯科、口腔ケア
- ・新聞折り・塗り絵・体操・下肢訓練・編み物・折り紙

### 【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・事故 3件（転倒～2件・離脱～1件）
- ・ヒヤリハット 1件（エアーマットスイッチ入れ忘れ～1件）

### 【感染症委員会・研修会・訓練】

◎研修会は感染症専門看護師の方が講師となり、当施設のマニュアルをより活

用出来るように見直しを行い、それを基に研修された。

- 其々の感染症の対応について指導を受ける。
- 職員が体調不良となった時に出勤するかどうかの判断についてアドバイスあり。職員は風邪等軽症でも入居者の方に感染した場合は重症となる事もある為、まずは入居者の方を守る行動をとりましようと言われる。(職員は休むか出勤しても入居者の方の対応は避けて掃除や事務処理等を行う)
- 職員が調理担当の場合、調理は中止する。

#### 【離設時の対応見直し】

- 早朝に離設があり、すぐには発見し事故に繋がる事はなかったが、発見が遅れると事故に繋がる為、離設時の対応を警察の方のアドバイスを含め全面的に見直した。
- ホーム内を探し見当たらない時はすぐに警察に連絡し、より早く情報が伝わり発見が早まるようにする。

#### 【その他】

(参加者の方より)

○熊の目撃情報が毎日のように入ってくる。下本郷・遠田・久城等も目撃情報があり、同じ熊なのか色々いるのかわからない。

○離設の事を聞き、施設の対応として事故を防ぐ事に加え身体拘束防止等も防ぐ等、職員の方も気が抜けない状況ではないだろうか。対応を頑張っても事故は起きる事もある為、入居者の方の状態を細かくご家族に報告しておくことが大切だと思う。

危険性がある方は位置情報がわかるよう GPS をつけたりする方法もあるのではないだろうか。

現場職員のみでの責任と対応ではなく、本社等も含めて対応していった方が良いと思う。



(ホームより)

- 普段から入居者の方の状態はご家族の方に細かく伝えるようにはしている。本社と連携しながらリスク管理を行うようにはしている。

○地域行事について

- 6月7日 地域の溝掃除
- 6月13日 健康教室